

整理番号	16-3	事務事業名	環境保全事業(各種環境測定、監視)	作成部署	市民環境部環境課	電話	内線822	
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	滝本 明	課長職名	奥野 章	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	S50年代	根拠法令等	大気汚染防止法、騒音規制法、悪臭防止法、北広島市ゴルフ場農薬等安全使用指導要綱、北広島市環境監視員設置規程等					
〃 終了予定年度	-							
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	昭和40年代後半からの市街化区域の拡大により、人口・事業所数が急速に増加し、大気汚染・水質汚濁など環境への負荷が増大し始めたため。							

## 1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	環境と共生する快適なまち	(第2章)
	節	環境保全	(第3節)
	施策	環境保全対策の推進、公害の防止	(第1施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	環境	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	事業者等に対する各種公害関係法令の規制等の周知を図り、また各種環境測定や河川の水質汚濁状況・ゴルフ場での農薬使用状況・自動車排出ガス等による大気汚染状況等を監視することにより、公害の未然防止・拡大防止を図る。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	・各種環境測定の実施(大気・水質・騒音・悪臭・農薬・ダイオキシン類) ・環境監視員の配置(ゴルフ場での農薬使用状況等の現地調査・指導等) ・環境汚染の調査、公害発生源の監視・指導
		17年度	・各種環境測定の実施(大気・水質・騒音・悪臭・農薬) ・環境監視員の配置(ゴルフ場での農薬使用状況等の現地調査・指導等) ・環境汚染の調査、公害発生源の監視・指導

## 2 実施(ドウ)

## 【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	5,611	6,212	5,807	5,807
	合計	5,611	6,212	5,807	5,807
人件費(概算)	人数(年間)	0.19	0.17	0.16	0.16
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	1,710	1,530	1,440	1,440
総事業費 +		7,321	7,742	7,247	7,247

## 【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標(事務事業の活動量や実績)	環境測定委託数	7	6	5	5
	環境測定データ数	674	697	653	653
	環境監視員配置数	1	1	1	1
成果指標(目的の達成度を測るものさし)	測定結果に基づく指導件数	2	3	-	-
効率指標(主要活動単位当たりコスト)	1環境測定委託当たりのコスト	481千円	646千円	691千円	691千円
		(委託料3,369千円 ÷ 委託数7)	(委託料3,878千円 ÷ 委託数6)	(委託料3,455千円 ÷ 委託数5)	(委託料3,455千円 ÷ 委託数5)

### 3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	・大気汚染、水質汚濁、騒音、悪臭などの従来の公害に加え、ダイオキシンをはじめとした有害化学物質などによる環境汚染が懸念されている。また、今日の環境問題は、地域の問題から地球規模の問題まで非常に多岐にわたり、今後ますます複雑化していくものと思われる。 ・他市町村においても、同様の環境測定・監視等を実施している。
---------------------------------	--

#### 【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	環境測定や監視は、広域的な汚染状況を把握するものや事業者等に対する指導の根拠として活用するために実施しているものであり、市が実施すべき事業である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	豊かな自然環境を後世に残すためには、環境の現状を把握する必要があり、目的は適当である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	環境の現状を把握するためには、測定や監視が最も適切な手段である。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)  該当しない		

#### 【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	測定結果をもとに事業者に対する指導を行ったり、また監視等で異常が発見された場合には、その原因の追求・除去対策等を実施することにより、公害の未然防止・拡大防止を図ることができる。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	項目・地点を厳選し、測定を実施している。	

#### 【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A      B      C

### 4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法等を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	今後も継続して、環境測定・監視を実施するとともに、測定結果などをホームページ等に掲載し、積極的に公表する。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	平成15年度から測定結果などをホームページに掲載しており、1次評価のとおり継続して実施する。